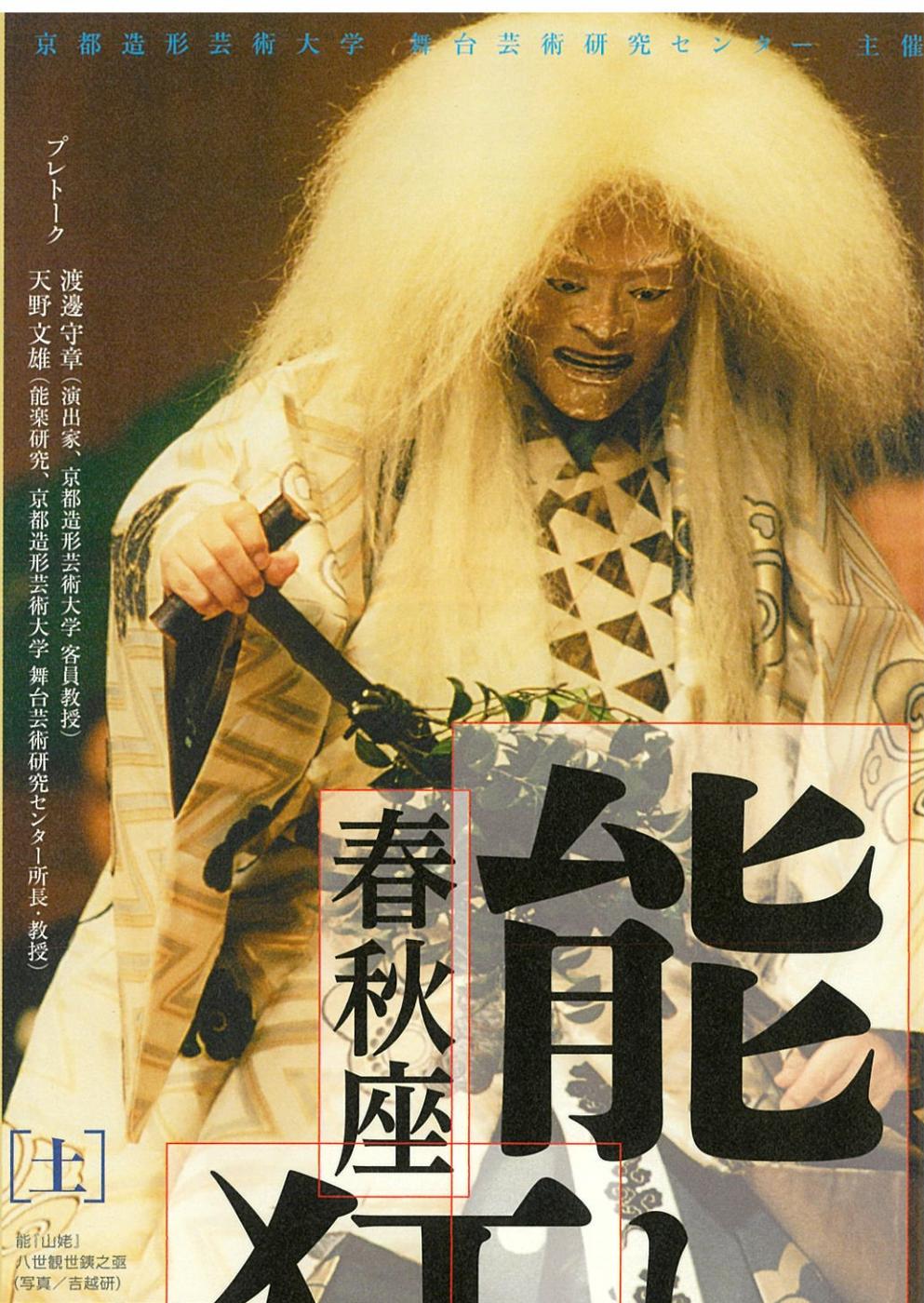




京都芸術劇場



プレトーク

渡邊守章(演出家、京都造形芸術大学客員教授)  
天野文雄(能楽研究、京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)

能「山姥」  
八世観世鏡之丞  
(写真/吉越研)

# 狂言 木六駄

シテ 太郎冠者 野村万作

ツレ 百万山姥 馬野正基

後シテ 山姥  
前シテ 女 観世鏡之丞

# 能 山姥

雪月花之舞

ワキ 従者 森常好

ワキツレ 供人 森常太郎

ワキツレ 供人 野口能弘

アイ 里人 野村萬斎

後見

清水寛二  
青木道喜

地謡

安藤貴康 河村博重  
橋本忠樹 柴田稔  
分林道治 片山九郎右衛門  
味方玄 古橋正邦

アド 主 内藤連

小アド 茶屋 野村萬斎

小アド 伯父 石田幸雄

大鼓 亀井広忠 太鼓 前川光範  
小鼓 大倉源次郎 笛 藤田六郎兵衛

2015年1月31日 [土]

14:00開演(13:30開場)

※本公演の前に14時よりプレトークを行います

京都芸術劇場 春秋座  
(京都造形芸術大学内)



# 能 狂言



企画・監修  
渡邊守章



野村 萬斎



石田 幸雄



観世 鏡之丞



片山 九郎右衛門



森 常好



2015年  
1月31日[土]  
14:00開演(13:30開場)

# 能狂言

企画監修  
渡邊守章(演出家、京都造形芸術大学客員教授)  
照明プラン  
服部基(ライティングカンパニーあかり組)  
舞台監督  
小坂部恵次  
協力  
鏡仙会、万作の会、空中庭園

恒例となりました「春秋座」能と狂言。今年度は、「山」に因んだ曲を二つ。能は、善光寺へ通じる深山で、都の芸能者たちが道に迷っているところに――彼らは山姥の曲舞を得意としているのですが――、本物の「山姥」が出て来てしまうという、今風に言えば、まさに「メタシアター」を逆手にとった、世阿弥の自信作です。そもそも「曲舞」は、世阿弥の父親阿弥が、当時の流行の芸能であったものを、猿楽の能に取り入れ、その長大な「語り舞」によって、大和猿楽の音曲面も舞の部分も、飛躍的な変化を實現した芸能でした。鏡之丞師の舞うシテの老女は、深山幽谷に棲む超自然的な存在であり、都の芸能者を巻き込んで、「曲舞」を舞い、それを「山姥の山巡り」へと繋げて舞い遊びます。能という芸能の孕む「宇宙的な神秘」に通じる「超絶的な幽玄」と言ったらよいでしょうか。

狂言は、冬と雪に因んだ大曲、『木六駄』を、人間国宝の野村万作師に演じていただきます。話は、暮のご祝儀として、主人が、「山」一つ越えた伯父のもとへ、「木六駄」と「炭六駄」と「酒一樽」を届けるように、太郎冠者に命じます。「六頭の牛に積めるだけの薪」というのが、「木六駄」の意味ですが、歳暮の品はもっと多いので、太郎冠者は十二頭の牛に荷を積んで出発します。

折りからの大雪。『木六駄』の見せ場は、「舞台にはいない、一列に繋いだ十二頭の牛を、いかにして大雪の降り積もる峠を無事に越えさせるか」という、まさに「見えない物」を「生き生きと現実」にそこにいるかのように見せる「演技」にあります。能舞台では、橋掛かりからワキ柱まで、舞台空間としては最大限の距離を取って、太郎冠者のこの「雪中の牛を連れての峠越え」を演じますが、春秋座の花道を使った演出ではどうなるか、今から楽しみです。峠の茶屋まで辿り着いて、寒さを紛らわすために、主人に託された「歳暮」の酒を、樽を開けて飲んでしまおう太郎冠者の酔態も、後半の見せ場です。深々と降り積もる峠の茶屋における情景として、「真つ黒になつて落ちてくる」と言った台詞にも伺える、まさに日本人の「季節感」による「詩情」の典型です。万作先生の父上の六世万蔵師の最晩年の舞台では、能楽堂の空間に、本当に「真つ黒になつて落ちてくる雪」という風流が現出した、感動的な瞬間がありました。御父君をも越えて万作師の太郎冠者が、どんな「雪景色」を、春秋座で体験させてくださるか。今から、ぞくぞくする思いです。

(渡邊守章)

□入場料(全席指定)  
 <S席> 一般——7,000円 シニア——6,500円 友の会——6,000円  
 <A席> 一般——6,000円 シニア——5,500円 友の会——5,000円  
 <学生&ユース席> 2,500円 ※ユースは25歳以下、シニアは60歳以上/シニア・学生・ユースは要証明書提示。未就学児のご入場はご遠慮ください。



□チケット発売日  
 友の会先行発売: 2014年11月4日(火)  
 一般発売: 2014年11月5日(水)

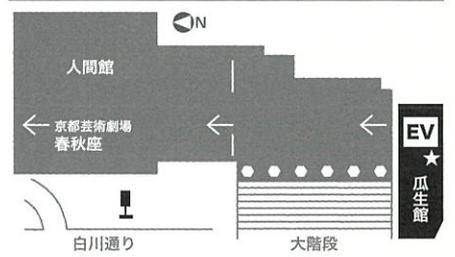
□主催・お問合せ先  
 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター  
 Tel 075-791-9437

□チケット取扱い  
 ●京都芸術劇場チケットセンター(窓口販売・電話予約)  
 Tel 075-791-8240(平日10:00~17:00)  
 ●劇場オンラインチケットストア※要会員登録(無料)  
 パソコンから  
<http://www.k-pac.org/>  
 携帯電話から  
<http://www.k-pac.org/theatre/m/m>  
 ●チケットぴあ  
 Tel 0570-02-9999 Pコード: 440-279  
 ●イープラス  
<http://eplus.jp>  
 ●京都・滋賀各大学生協プレイガイド

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]  
 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116



- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分  
 ※駐車場はございませんので、お車・バイクのご来場はお断りします。



白川通りから劇場1F(人間館1F)へは、新設の瓜生館エレベーターをご利用下さい。

※車椅子ご利用のお客様、足の不自由なお客様は、お電話にてお申込み、お問い合わせください。(075-791-8240: 京都芸術劇場チケットセンター) / 劇場2階席への移動は階段のみとなります。